

「うつのみや学校マネジメントシステム」学校評価書（小学校版）

※ 網掛けのない部分が計画、網掛けの部分が評価結果を受けて記入する。

1 教育目標（目指す児童生徒像含む）

- 教育目標 豊かな心と健やかな体を持ち、創造的に考え、自らの向上とよりよい社会の発展を目指し、たくましく生きる児童を育成する。
- 目指す児童像 ①礼儀正しく、思いやりのある子（豊かな心情）
②きまりを守り、責任を果たす子（あふれる気力と実践力）
③進んで勉強し、工夫する子（確かな思考と想像力）
④健康でがんばる子（たくましい体力と心）

2 学校経営の理念（目指す学校像含む）

テーマ 「明るく活力に満ち、家庭や地域と共に歩む学校」

- 子どもたち全員が夢や希望の持てる学校づくりに努める。
- 学習のねらいが子どもたちに分かる授業に努める。
- 保護者や地域との絆を深め、当たり前なのが自然にできる人づくりに努める。
- 地域の人たちが集まり、活気のある学校づくりに努める。

3 学校経営の方針（中期的視点）

- (1) 学校運営の適正化
 - ①教育目標の明確化と経営理念の共通理解
 - ②学習指導要領に基づく創意ある教育課程の編成と適正な実施
 - ③校務分掌の円滑な運営と事務処理の効率化
 - ④施設・設備の充実と活用の工夫
 - ⑤学校安全管理体制の整備
- (2) 教職員の資質向上
 - ①学校課題解決のための校内研修の推進 ②自主研修の充実と推進 ③学校評価の充実
 - ④社会性の向上と規範意識の高揚
- (3) 学年・学級経営の充実
 - ①創意ある学年、学級経営の推進 ②意欲・態度など情意面の積極的な評価
 - ③児童理解を基盤とした児童と教師の信頼関係の確立
- (4) 学習指導の充実
 - ①基礎的・基本的な内容の定着 ②生きる力を育む学習指導の着実な実践と自主的・主体的な学習の推進
 - ③体験的な学習の充実と自主的な学習の推進 ④教材教具及び地域人材・地域教材の有効活用
- (5) 豊かな心の育成
 - ①道徳教育の充実 ②特別活動の充実 ③体験活動の充実と福祉施設との積極的な交流
- (6) 児童指導の充実
 - ①児童指導体制の確立と児童理解の推進 ②教育相談の充実 ③自尊感情を育てる教育活動の推進
- (7) 体力の向上と保健安全教育の向上
 - ①児童の実態に基づく体力づくりの推進 ②保健・安全・給食の管理、指導の充実
 - ③健康教育及び食育、地産地消の推進
- (8) 家庭・地域との連携及び特色ある学校づくり
 - ①学校教育への理解と協力を得る機会の設定 ②地域と融合した教育活動の推進
 - ③特色ある学校づくりの推進 [親学の推進]

4 今年度の重点目標（短期的視点）

（学校運営）

- ・家庭や地域との絆を深めた特色ある学校づくりの推進

（児童生徒指導）

- ・基本的な生活習慣を身に付け、規則を守り楽しく意欲的に行動できる児童の育成

（健康・体力）

- ・自己の体力や健康を的確に把握し、適切に自己の健康・安全管理ができ、たくましく生きる児童の育成

（学習指導）

- ・ねらいを明確にし、課題提示や発問を工夫した「分かる授業」の創造

5 自己評価（Aは共通評価指標、Bは学校独自評価指標）

（評価指標の〔全〕は、全体アンケート実施）

（「主な具体的な取組の方向性」には、A拡充 B継続 C縮小・廃止、を自己評価時に記入）

項目	評価指標	主な具体的な取組	方向性	評価
教育全体の状況	<p>A1 学校は、活気があり、明るくいきいきとした雰囲気である。〔全〕</p> <p>【数値指標】 全体アンケートの「自分は今の学校が好きである」 ⇒児童の肯定的回答 85%以上</p>	<p>① 児童会によるあいさつ運動を継続的に実施していく。</p> <p>② 「なかよしタイム」「清掃活動」の縦割り班活動により、温かい交流を深める。</p> <p>③ 教師は児童の自尊感情を高める関わりを心がける。</p>	B	<p>【達成状況】</p> <p>A1 (児No.1) ⇒92.6% (+7.6 point)</p> <p>A2 (児No.3) ⇒90.8% (+5.8 point)</p> <p>A3 (教No.4) ⇒85.7% (+5.7 point)</p> <p>A4 (児No.5) ⇒92.9% (+12.9 point)</p> <p>A5 (教No.6) ⇒100% (+5.0 point)</p>
	<p>A2 教職員は、組織の一員として誠実で熱心に教育に当たっている。〔全〕</p> <p>【数値指標】 全体アンケート「先生方は、児童のことを考え、良いところは認めてくれたり、よく話を聞いてくれたりする」 ⇒児童の肯定的回答 85%以上</p>	<p>① 児童や保護者の訴えに常に耳を傾け、即刻対応に努める。</p> <p>② 意見交換が気軽にできるよう職員間の人間関係を深める。</p>	B	<p>A1 児童「今の学校が好きである」については、児童の学校生活全般の満足度を推し量る上で重要な設問であるが、肯定的回答が92.6%は今年度数値目標を7.6ポイント上回り評価できると考える。</p> <p>A4 「先生方の授業は、分かりやすく、一人一人に丁寧に教えてくれる」については、児童は92.9%と数値目標12.9ポイント上回っている一方、保護者は65.2%と児童との差が大きく、児童と保護者の意識の違いが浮き彫りとなった形である。</p>
	<p>A3 児童は、授業と生活のきまりやマナーを守り、秩序があり安全な学校生活をしている。〔全〕</p> <p>【数値指標】 全体アンケート「児童は、授業と生活のきまりやマナーを守って生活している」 ⇒教職員の肯定的回答 80%以上</p>	<p>① 「児童のきまり」を配布活用し、基本的な生活についてのあり方を示す。</p> <p>② 道徳の授業において、規範意識の高揚を図る。</p>	B	
	<p>A4 分かる授業やきめ細かな指導で学力向上を図っている。〔全〕</p> <p>【数値指標】 全体アンケート「先生方の授業は、分かりやすく、一人一人に丁寧に教えてくれる」 ⇒児童の肯定的回答 80%以上</p>	<p>① 本時学習の「めあて」の提示を工夫し、明確化を図る。</p> <p>② 教材教具の効果的な活用を図る。</p> <p>③ 習熟度別学習を取り入れ、個々の児童の学力に応じた指導を行う。</p> <p>④ チャレンジ学級の充実に努め、通常学級との交流等を図る。</p>	B	<p>【次年度の方針】</p> <p>A1については、全児童が肯定的に回答することを旨とする本校の全体指標とも言える数値であるが、児童一人一人の実態もあり、現状を再考し数値目標を決定していきたい。</p> <p>A5については、数値目標に教職員の回答を設定したが、客観性などを勘案すると適切であったか検討する必要がある。その他の項目についても、次年度に向けて数値目標について検討・工夫していきたい。</p>
	<p>A5 日課、授業、学校行事など教育課程は、適切に実施されている〔全〕</p> <p>【数値指標】 全体アンケート「学校の日課、授業、行事などは、適切に実施されている」 ⇒教職員の肯定的回答 95%以上</p>	<p>① 学校行事後及び年度末にそれぞれの教育活動について自己評価を実施し次年度の教育課程に生かしていく。</p> <p>② 自己評価の中で行事の精選や内容の更なる充実に努める。</p>	B	

学校運営の状況	<p>A6 学校の公開や情報の積極的な発信・提供が行われ、「地域の学校づくり」が進められている。〔全〕</p> <p>【数値指標】 全体アンケートの「学校は、学校便りや学校公開などで、積極的に情報を発信・提供している」⇒保護者の肯定的回答85%以上</p>	<p>① 年間を通して自由参観とし、保護者にいつでも参観できる環境を提供する。</p> <p>② 各種「たより」やホームページにより、学校の方針や情報を発信する。</p> <p>③ 地域協議会の充実を図り、有効に活用する。</p>	<p>【達成状況】 ※は「5」判断できないとの回答を省いた割合 A6 (保No.7)⇒92.8%(+7.8 point) ※93.7%(+8.7 point) A7 (保No.8)⇒77.6%(-7.4 point) ※83.8%(-1.2 point) A8 (保No.10)⇒69.8%(-5.2 point) ※73.0%(-2.0 point) A9 (保No.11)⇒61.5%(-18.5 point) ※78.0%(-2.0 point)</p> <p>B</p> <p>保護者のアンケート結果を達成の数値指標にした関係で「5」判断できないと回答した数の取扱によって比率に違いが出たが、「5」を除いた結果では、概ね目標を達成できたと考える。</p> <p>しかし、A8「清掃が行き届き、学習しやすく潤いのある環境である」については、教職員より改善のできる部分があるのではないかという意見もあり検討課題である。</p> <p>B</p> <p>【次年度の方針】 「5」判断できないと回答した保護者の比率を低く抑えることが、保護者の学校理解についての指標になるとも考えられるので、年間を通して「自由参観」としている本校のシステムを更に利用していただけるよう働きかけていくとともに、特色ある学校づくりのための経営指針で打ち出しているように「積極的な情報発信」について更に進めていきたい。</p>
	<p>A7 学校と家庭・地域・企業等との連携・協力を図った取組が推進されている。〔全〕</p> <p>【数値指標】 全体アンケートの「学校は、家庭、地域、企業等と連携・協力して、教育活動や学校運営の充実を図っている」⇒保護者の肯定的回答85%以上</p>	<p>① 地域の方々の協力を得た授業(体験活動・学校行事など)を計画する。</p> <p>② P T Aによる読み聞かせボランティアを活用する。</p> <p>③ 地域の伝統行事である盆踊り大会への連携を図る。</p> <p>④ 登下校の安全確保のために、地域の協力を得る。</p>	
	<p>A8 校内は、学習にふさわしい環境となっている。〔全〕</p> <p>【数値指標】 全体アンケートの「学校は、清掃が行き届き、学習しやすく潤いのある環境である」⇒保護者の肯定的回答75%以上</p>	<p>① 児童が意欲的に取り組む清掃活動を工夫する。</p> <p>② 6年生が毎朝階段の掃き掃除や校庭のごみ拾いを実施し、他学年の児童を啓蒙する。</p>	
	<p>A9 学校全体で、教職員一人一人の指導力向上に努めている〔全〕</p> <p>【数値指標】 全体アンケートの「学校は、教職員が互いに指導力向上に取組、指導の工夫・改善に努めている」⇒保護者の肯定的回答80%以上</p>	<p>① 学年内で授業を研究し合う等校内研修の充実を図る。</p> <p>② 自己の研修目標を設定実行し、必要に応じて研修の成果を、職員研修の場などで全職員に広める。</p>	
教育活動の状況	<p>A10 元気にあいさつし、気持ちの良い言葉づかいをしている。〔全〕</p> <p>【数値指標】 全体アンケートの「児童は、あいさつをしている」⇒教職員の肯定的回答80%以上</p>	<p>① 教師が率先してあいさつの実践に努める。</p> <p>② 児童会により実施されているあいさつ運動を利用し全児童の意識を高める。</p> <p>③ 「たより」などを利用し保護者への呼びかけを行う。</p>	<p>【達成状況】 A10(教No.12)⇒88.5%(+8.5 point) 「あいさつ」については、教職員及び児童(84.9%)は概ね良好という結果を得られたが、保護者の評価は65.2%で意識の開きがある。言葉遣い(No.13)では、児童77.3%、保護者57.3%、教職員85.7%と意見が分かれた。</p> <p>【次年度の方針】 あいさつ・言葉遣い(場に応じ、学年に応じた)が更に定着するよう工夫する。特に児童の意識が低い言葉遣いは検討していきたい。</p>

健康・体力	<p>A11 毎日朝ごはんを食べ、好き嫌いのない食事をしている。〔全〕</p> <p>【数値指標】</p> <p>全体アンケートの「自分の子どもは、朝ごはんを食べ、好き嫌がなく食事をしている」</p> <p>⇒保護者の肯定的回答 80%以上</p>	<p>① 栄養士と担任教師との連携を図った授業を実施するなど、食育に関する教育の充実を図る。</p> <p>② 「食育だより」を定期的に発行し家庭にも協力を呼びかける。</p>	<p>【達成状況】</p> <p>※は「5」判断できないとの回答を省いた割合</p> <p>A11(保No.14)⇒79.4%(-0.6 point)</p> <p>※79.6%(-0.4 point)</p> <p>B1(教No.18)⇒91.4%(+1.4 point)</p> <p>本年度の学校課題(4)「自己の体力や健康を的確に把握し、適切に自己の健康・安全管理ができ、たくましく生きる児童の育成」については、B1から概ね達成できたと考える。</p>
	<p>B1 自己の健康について自ら学び進んで課題を追求する。</p> <p>【数値指標】</p> <p>全体アンケート「児童は自己の体について理解し、健康に過ごせるよう、工夫・努力している」</p> <p>⇒教職員の肯定的回答 90%以上</p>	<p>① 養護教諭と担任教師との連携を図った授業を実施するなど、保健・健康に関する授業の充実を図る。</p> <p>② 体育授業の導入運動を工夫し、意欲的に体力の向上を図らせる。</p>	<p>【次年度の方針】</p> <p>体力の向上については、敏捷性について学校医よりも指摘を受けており、学校課題として重点的に取り組む工夫をしたい。</p>
学	<p>A12 授業に熱心に取り組む、基本的な学習態度・技能が身に付いている。〔全〕</p> <p>【数値指標】</p> <p>全体アンケート「児童は、進んで挙手し、大きな声で発表するなど授業に対して積極的に取り組んでいる」</p> <p>⇒教職員の肯定的回答 90%以上</p>	<p>① 朝のタイムを活用し、学習内容「基礎基本」の定着の一助とする。</p> <p>② 個々の児童の学年や学力に応じた課題の提示、学習方法の指導・定着に努める。</p> <p>③ 学習訓練の地道な指導を継続する。</p>	<p>【達成状況】</p> <p>A12(教No.16)⇒91.1%(+1.1 point)</p> <p>指標とした教職員の肯定的回答では概ね良好という結果を得られた。また保護者も「5」の判断できないと回答した数を除いた数では84.7%であり保護者の回答としては良好と考える。</p> <p>【次年度の方針】</p> <p>継続的に、指導に取り組む。</p>
本校の特色・課題等	<p>B2 地域協議会やPTA、企業、関係機関等との連携協力を図り、親学を推進する。</p> <p>【数値指標】</p> <p>全体アンケートの「学校は、PTAや地域等の方々と協力し、地域全体の教育力が高まるよう努力している」</p> <p>⇒教職員の肯定的回答 85%以上</p>	<p>① 地域協議会やPTA活動の中に児童と保護者が一緒に参加できる活動を組み込む。</p>	<p>【達成状況】</p> <p>B2(教No.19)⇒97.1%(+12.1 point)</p> <p>指標とした教職員の肯定的回答では概ね良好という結果が得られた。しかし保護者の「5」の判断できないと回答した数を除いた数では79.7%であり保護者の回答としては努力が必要と考える。</p> <p>【次年度の方針】</p> <p>地域協議会やPTAと協力し、更なる活性化を目指す。</p>

〔総合的な評価〕

（学校運営）

- 家庭や地域との絆を深めた特色ある学校づくりの推進
 - ・ 校長室だよりや学級だより等による情報発信に力を入れてきたことにより、学校での活動の様子がよくわかり助かるという保護者よりの反応を得ている。また、本校卒業生等による講演会を企画し保護者や地域の関係者にも傾聴していただく機会となり本校を中心とした地域の輪を広げることができたのではないかと考えている。
 - ・ 地域協議会では、地域の方々につどっていただくための「いこいの広場」を整備し、今後地域の方々を目で本校の安全を見守っていただく足がかりとした。

（児童生徒指導）

- 基本的な生活習慣を身に付け、規則を守り楽しく意欲的に行動できる児童の育成
 - ・ 学校のきまりやマナーを守って生活しようとする児童が多く、児童は概ね落ち着いた態度で学校生活を送っている。あいさつや言葉遣いに関しても校内においては良好な状況であるので、今後、地域・家庭とも更に連携を強化し、継続した指導を行っていききたい。

（健康・体力）

- 自己の体力や健康を的確に把握し、適切に自己の健康・安全管理ができ、たくましく生きる児童の育成
 - ・ 新体力テストの結果より本校の児童は「俊敏性」「全身持久力」が劣るという結果を得ている。このため、体育の授業では導入運動に「縄跳び運動」や「サーキットトレーニング」を取り入れる等工夫してきた。また、全校児童による持久走大会や集会におけるリズム運動などを取り入れ体力の向上に努めている。今後も、児童が楽しみながら体力の向上を図れるよう、工夫・改善を行っていききたい。
 - ・ 自己の健康増進に関しては、まだ自ら高めていく状況には至っていないので、授業等を通して改善を図りたい。

（学習指導）

- ねらいを明確にし、課題提示や発問を工夫した「分かる授業」の創造
 - ・ 単位時間あるいは単元ごとの目標を設定して、目標に迫る課題や質問を効果的に活用するように授業を進めてきた。そのため、概ね学習内容の理解について良好な結果を得ている。また、養護教諭や学校栄養士、ALTとのチーム・ティーチングを取り入れた「分かる授業」でも成果が表れた。

6 学校関係者評価

- 開かれた学校を目指して意識的に努力していることが分かった。それでも、学校外の者は、なかなか気軽に入るといふわけにはいかないのが現状だと思う。開かれた学校を目指して、更に工夫していただきたい。
- 児童の登下校の安全について、様々な対応がなされているが、こども110番についてもっと子どもが活用しやすいようなデモンストレーションをしていただけるとありがたい。本校には交通指導員がいないということで、道幅が狭く交通量が多いなどの危険箇所については交通指導員を配置するような動きも必要ではないか。

7 まとめと次年度へ向けて（学校関係者評価を受けて）

- 学校運営については、できるだけ多くの情報を発信し、学校の方針や活動状況について伝えていくことについては継続していく。さらに、保護者や地域の方々、直接学校に足を運び、児童の活動の様子や児童を指導する教職員の状況を見ていただけるように工夫していききたい。具体的には、地域の方々が集い見守っていただくことを目的に整備した「いこいの広場」を積極的に活用するような機会を作っていくことや、年間を通していつでも授業を参観していただけるシステムをとっていることをうまく利用していただくために、PTA室の稼働率が高いことを受け、PTA活動後の保護者の方々に授業参観をしていただくこと、比較的学校の参観が気軽にできる保護者の方に中心になっていただき、小グループで参観していただくようなシステムをつくることなど工夫していききたい。
- 教育活動においては、総合的な評価に記述してあることを中心に指導していく。その際、児童の状況を把握しながら、児童に必要な基礎基本的な学力や体力、生活習慣が定着するように指導するとともに、児童の主体的行動も重視していききたい。